

ハワイ遠征報告 3月2日（金） - 1日目

報告者：HC 白澤

<p>3月2日（金）</p>	
<p>（日本時間） 19時</p>	<p>●<b>成田空港にて集合</b></p> <p>ハワイ遠征に向けて、日本での最終ミーティング。</p> <p>改めてチームで今回の遠征の目的を共有し、ワクワクした興奮状態から、やや緊張した面持ちになる。ビーコルユースとしても久しぶりの世界への挑戦となる。初めて海外に行く選手は、いくらか緊張が見られるが、選手たちは何を感じ、どんな成長を遂げてくれるのか楽しみである。</p> <p>最後に見送りに来てくれた保護者に対するの挨拶し、今回の遠征に対する意気込みを伝える。</p> 
<p>（現地時間） 9時</p>	<p>●<b>ハワイ到着</b></p> <p>特に大きなトラブルもなく、日本時間 21 時にハワイ州ホノルルに向けて離陸。約 8 時間のフライトを経て、現地時間 9 時に、無事にホノルルに到着。慣れない長時間での移動のためか、選手たちにも疲労が見られた。</p> <p>しかし、空港の外に出ると海外の雰囲気興奮し、疲れも紛れた様子。そのままバスに乗り込み、現地の高校で行われる文化交流会に向かう。</p> 
<p>10時30分～</p>	<p>●<b>AIEA（アイエア）高校での交流会</b></p> <p>予定よりも早くパールハーバー湾の近くにある AIEA 高校に到着する。日本語クラスに参加させていただき、現地の 15～17 歳の生徒と交流をする。会話は、現地高校生たちの慣れない日本語と、ビーコルの片言の英語でおこなわれる。会話は基本的に英語で行われ、最初は緊張からなかなかうまくコミュニケーションを取れなかったが、徐々に慣れ最後には完全に打ち解けた様子となる。お互いの SNS を交換するなどしていた選手もいて、現地の生徒も同年代の日本人との交流ができ、とても満足げな様子だった。</p>



ランチは高校側からご提供を受ける。AIEA の生徒に案内されてカフェテリアにランチを取りに行く。

午後は高校側の配慮もあり様々な授業の見学をさせていただく。見学した授業は、ダンス、デザイン、エンジニアリング、建築など、日本ではなかなか受けることがない授業ばかり。話を聞くと、アメリカの高校では数学や英語などの必須科目の他に、上記の専門的な授業が選択必須科目として卒業要件に含まれており、生徒たちは自分の興味のある分野を高校生の時点で選んで勉強を始めているようだ。受験勉強を必死に励む日本の高校生たちの姿をよく見る選手たちは、日本と全く違う教育システムに驚いていた。

スタッフの視点から感じたことは、現地の生徒の積極性。

交流会の中のほとんどの会話は全て現地生徒の質問から始まっており、チームの選手たちは答えるのみ。今後は自ら積極的に物事に取り組むことが大切だと思う。改めて伸ばすべき点を見つけることができ良かった。



1 3時30分

●移動、ホテルへチェックイン

パールハーバーから、ダイヤモンドヘッドを周遊し、ハワイの自然を感じつつ、ワイキキ・パーク・ホテルへチェックイン。

1 6時30分

●夕食へ

夕食は、観光客も多く集まり現地の雰囲気より感じられる、アラモアナショッピングセンターへ。ショッピングセンターに向かう前に、すぐ近くのビーチでハワイの海へ！選手たちも美しい砂浜と海水に歓喜の声をあげている。



アラモアナショッピングセンターで少し早めの夕食。ここでは、フードコートで各自が自分の食べたいものを選び、自分で購入する。緊張しながらもそれぞれが自分の言葉で購入。しかし、ボリュームの多さに女子は四苦八苦。その後はウインドショッピング。日本と違うショッピングセンターに興奮し、楽しんでいた。その後は、ワイキキで毎週金曜日に行われる花火を見て、ホテルへ。

疲れもピークに来ているため、21時には解散。そして、一日ボールに触れていないだけで、選手たちからは「早くバスケがしたい」との声が。明日からが楽しみとなる。

21時	解散。
所感	<p>本日は、移動から学校訪問までとイベントが盛りだくさん。選手たちは夜にはぐったりしていたものの、充実した表情を見せていた。今日は、日本人の主張の不足、弱さを感じた。自分の感じた事、考えた事を表現することが「恥ずかしい」と感じたり、「間違えてはいけない」と思ったりすることが、挑戦することへのブレーキとなっている。</p> <p>今回の一番大きな目的が、「世界を知り、挑戦をする」ということであるため、最初のステップとしては課題点に気付けたことは収穫。明日からは、自分たちの大好きなバスケで表現していけるように。</p>
<明日の予定>	<p>AM コンベンションセンターで練習</p> <p>PM ストリートコートで練習、リフレッシュ</p> <p>夜 ミーティング</p> <p>※交流戦予定ではあったが、都合により練習のみ</p>
<明後日の予定>	<p>AM/PM 交流戦</p> <p>夕方 ショッピングなど</p>
<最終日>	帰国

**随時情報更新中！**

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

ハワイ遠征報告 3月3日(土) - 2日目

報告者：HC 白澤

<p>3月3日(土)</p>	
<p>AM</p>	<p>●朝食後、コンベンションセンターでの練習へ！</p> <p>朝の起床時間を少し早めにして、ホテルのロビーに集合。選手たちのコンディションが心配だったが、時差ボケもなく良く眠れたようで一安心。天気も良く、選手たちにもリラックスした良い雰囲気が出る。明日の試合会場となるアラモアナコンベンションセンターへ向かう。</p> <p>まだ前日の疲れも多少残っており、体が重そうな様子だったが軽く汗を流して調子も戻って来た模様。</p> <p>女子チームは4名しかいないため、前日に訪問したAIEA高校から2人が参加する。試合にも参加し合同チームとして挑むことになる。</p> <p>昨日の高校見学では日常に関する英語を勉強することができたが、今日はバスケットに関する英語を勉強することができ、まさに現地でしか味わうことができない体験となった。</p> <p>練習の中で選手たちのコミュニケーションも増え、個人の良さも出て来た。日本とは違うコートの感触も確かめることができ、試合へのコンディションを整えることができた。</p> <p>最後は良い形で練習を終えることができた。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>
	<p>●昼食</p> <p>アラモアナセンターのフードコートで食事。まだ出国して2日目なのに、日本食を食べる選手が多数。現地の食事に柔軟に対応できる選手は、その分ストレスも少ないので他の選手に比べて有利である。オリンピックや世界選手権などで、他の競技でも同様に「食にストレスを感じない」ということの重要性を、スタッフとしても改めて感じる。今後の改善点の一つとなった。</p>

PM

●ストリートコート/ビーチ

アラモアナセンターの近くなる公園内のコートで、翌日の試合に備えたフォーメーションの確認、軽めの対人練習行い汗を流した。明日の試合へのモチベーションも上がっていたので期待ができる。



本場のストリートコートを経験させてあげられたことで、「日本にもこのような場所がたくさん欲しいなあ」と子ども達の声も聞かれた。公園のわきではフラダンスを行っているグループがあり、急きょ参加させてもらうことに。短い時間だったが、音楽に合わせて踊ることもでき、楽しんでいた。

そのまま、子ども達の待望でワイキキビーチへ向かう。少し肌寒かったが、海に飛び込み、砂浜で走り回り思い切り楽しむことができ、よいリフレッシュの時間となっていた。

この午後の時間でアクティビティでチームとしての輪もしっかりと形成することができたと思う。個々の状態から、チームの状態へと試合前に持って行くことができた。



18時30分

●夕食

日本でもパンケーキで有名な「egg's things」へ。好きなもの自ら注文することにも慣れ、食事を満喫しつつ、テラスから見えるワイキキの夕暮れに感動していた様子。もちろん定番のホイップ大盛りのパンケーキも、数名でシェアして堪能する！



20時00分	<p>●ミーティング</p> <p>明日のスケジュールを最後に確認。今回の遠征の目的である試合に備え、選手たちも気が引き締まった様子。リラックスした気分から、しっかりと切り替えられていた。</p>
20時30分	解散
所感	<p>昨日のタイトなスケジュールから、できるだけバスケの時間を増やし、時差からくる体のズレを調整することにあてたが、しっかりと順応していたことには感心する。また、ハワイで出会う人々の温かさや優しさを感じることも多く、外国にいる緊張感や言葉が通じないストレスも解けてきている。チーム内でもメンバー同士の会話が 増え、交流やコミュニケーションもしっかりと行っている。</p> <p>ただし、治安が良く安全な日本とは違う側面もあることを強調する。荷物を置くことや、財布の管理などに意識が向くようにしていく必要がある。</p> <p>また、バスケットボールの環境の違いや、プレイするコートの多さを知ることができ、日本という環境の中で、日本人がどのような努力をしていくべきなのかを考えていく必要がある。</p>
<明後日の予定>	<p>AM 交流戦</p> <p>PM ランチ会、ショッピング</p> <p>夕方 食事、ミーティング</p>
<最終日>	帰国

**随時情報更新中！**

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

## ハワイ遠征報告 3月4日(日) - 3日目

報告者：HC 白澤

3月4日(日)	
AM	<p>●朝食後、コンベンションセンターでの試合へ！</p> <p>朝の起床時間は昨日よりも早く、7時にはホテルのロビーに集合。選手のコンディションは2日間のハワイ滞在で調整することができ、万全となっている。試合会場となるアラモアナコンベンションセンターへ歩いて向かう。</p> <p>女子チームには、昨日の練習に参加してくれた現地の選手2名に加え、日本語クラスでも明るいキャラクターで中心となっていた選手が参加、計7名のチームとなる。</p> <p><b>男子 GAME-1 &lt;ビーコル ○ 55 - 45 × ハワイ&gt;</b></p> <p>序盤は緊張からかターンオーバーやシュートミスが目立て、オフェンスで波に乗ることができない。また、ドリブルインを警戒するあまり、3Pシュートを高確率で決められてしまう。アメリカのジャッジに戸惑いながらも、ディフェンスの距離感や手の使い方を修正し、徐々に力を発揮していく。相手の力強く飛び込んでくるリバウンドに、押し込まれる場面も見られたが、ディフェンスからリバウンドを徹底し、速攻に持ち込んでいく。</p> <p><b>女子 GAME-1 &lt;ビーコル × 36 - 67 ○ ハワイ A&gt;</b></p> <p>相手に185cmを超える大きな選手や170cmを超える選手にインサイドを支配される。アウトサイドからきっかけをつかみインサイドにつなぎたいところだが、連携が取れずうまく攻められない。後半はインサイドを固めてチームでのディフェンスができ始めると少しずつ流れを引き寄せせる。しかしながら、インサイドを支配していたビッグマンがトップからの3Pを連続で決め、プレイの幅を見せつける。終盤はセットオフェンスから活路を見出し、素晴らしいボールムーブを見せる。アウトサイドでのシュートで反撃を試みるも、成功率は上がらず、万事休す。</p> <p><b>男子 GAME-2 &lt;ビーコル ○ 64 - 41 × ハワイ&gt;</b></p> <p>2試合目となり、硬さも取れた選手たちは、ディフェンスから速い攻めで得点を奪っていく。1試合目に与えられた課題にも、積極的にチャレンジしていく。ゾーンとマンツーマンを併用する相手ディフェンスに翻弄されてしまい、要所で1on1での失点が目立つようになってしまう。しかし、リバウンドと素早い攻めで相手を圧倒。怪我の影響や、体力切れも懸念されたが、最後まで歯を食いしばり足を使ったディフェンスで相手をひきつけず、勝利！</p> <p>しかしながら、そのフィジカルの強さ、体をぶつけたときの審判のジャッジ。新しい刺激や、世界に出て活躍するためのヒントとなり、バスケットに対する視野が広がっている。</p> <p><b>女子 GAME-2 &lt;ビーコル × 27 - 64 ○ ハワイ B&gt;</b></p> <p>1試合目のインサイド主体のチームから、激しいトラップディフェンスをおこなうチームとなった。序盤はこの対応が遅れてしまい、相手にイージーなシュートを打たれたり、アウトサイドから3Pを決められたりした。落ち着きを取り戻し、対</p>

処することにエネルギーを使う頃には、試合の大勢が決していた。しかし、個々の課題に対して、柔軟にプレイを変えて自らを成長させていく。とくに、助っ人参加のメンバーとのコミュニケーションを積極的に図り、徐々にお互いの良い部分を発揮することができた。



### **試合終了後に、「3P コンテスト」を開催！**

#### **<予選ラウンド> ※10本打って、何本入るかを競う**

男子2チームより4名を選出 →全体： 1位 濱田眞平（7本）、2位 小原翔馬（6本）

女子3チームより6名を選出 →全体： 1位 小山夏鈴（5本）

#### **<決勝ラウンド> ※3本打って、何本入るかを競う**

男子：1位 濱田眞平（1本） vs 女子：1位 小山夏鈴（3／3本）

**優勝：B-COR 女子 小山夏鈴**

#### **<女子集合写真>**



<男子集合写真>



●昼食/ランチ交流

子ども達のコミュニケーション能力と友達を作る能力は大人のそれをはるかに超える。みんなでテーブルを囲み、笑顔が絶えない。そして、最後にはハグでお別れをする。それぞれに、SNS で繋がりを作って、また会うことを約束していた。こうやっている姿を見ていると、バスケットで対戦すること以上に、人生における価値を感じる。



ハワイ遠征報告 3月5日(月) -4日目

報告者：HC 白澤

<p>3月5日(月)</p>	
<p>AM</p>	<p>●早起きして日の出のビーチへ</p> <p>朝の陽が昇る前、6時にホテルのロビーに集合。選手たちは疲れた表情ではあるが、最後の一日を満喫したいのか全員しっかりと集合。まだ暗い中、ワイキキビーチまで歩いていくと、到着後すぐに波打ち際に立ち、明るい月と星空を満喫。</p> <p>陽が出て明るくなっても、なかなか立ち去ろうとはしなかった。</p>  <p>ホテルに戻り、各自で荷物の整理。前日からもすでに片づけをしていたため、すぐに終わることが出来たため、ホテルのプールでゆっくりとした時間を過ごす。</p>
<p>12時00分</p>	<p>●空港へ移動/帰国の途へ</p> <p>忘れ物もなく、無事にホテルを出発。</p> <p>最終日にして、ようやく晴天に恵まれてハワイの風景を満喫しながら空港へ向かう。</p> <p>空港ではチェックインも出国手続きもスムーズに行い、空港内でのちょっとした買い物にも慣れた様子。</p> 



さらに飛行機の中でも、ストレスなく過ごすことが出来る姿に成長を感じる。

18時30分～

●帰国、そして家族との対面！

到着後も、「空港がハワイと似ている！」や、「ハワイの空港よりも広い！」など、ハワイと日本を比較する発言が多く、日本に帰ってきた実感と、子ども達の視野の広がりを感じさせてくれる。

出国手続きも、預け荷物の受け取りもスムーズに終え、出口で待っているご家族と対面すると、子ども達は安心した表情になる。それぞれ、ハワイでの出来事をたくさん話ながら、それぞれ帰宅の途につき、無事にハワイ遠征を終えることが出来た。



まとめ

今回の遠征では、学校訪問や海外の文化に触れることを通じて、言葉の壁を少しだけ乗り越えて視野を広げることが出来たと、子どもたちの様子から感じる事ができた。交流戦でも、日本のバスケットと海外のバスケットの違いを経験することで、日本とのギャップを感じる事ができたと話してくれていた。

彼らのおかげで、「世界で通用する人材を育てる」という理念のもと、今回の遠征を実現させたことに意義を感じる事が出来た。

子ども達にとっても、これで全てが成功し終わるのではなく、これを入口としてより広い視野を持ち、世界を知り、自分たちの位置を正確に測ってほしいと思う。

このような活動がより多く、より深く、より広くなっていくことで、世界と日本のバスケットボールは近づいていくと感じる。

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！